

「くまもと環境フェア2007」第1回実行委員会
議事録

日 時：平成19年7月20日（金）19：00～21：00

場 所：市役所7階会議室

参加者：間実行委員長、室原副委員長、大城副委員長、中野副委員長、中村企画運営委員長、鬼塚（水と緑）、梶原（広報）、浜田（エコフリ）、宮原（環境教育、温対センター）、福田、茂長（よかエネ）、堀坂（緑保全課）、村上（水保全課）、濱野、中村（廃棄物計画課）、飯銅（浄化対策課）、山本（環総研）、荒川（下水道総務課）、村崎（下水道技術センター）、前野、植木、宮本、谷山、光安、福田、渡辺（環境企画課）

【進行：室原】

1 実行委員会の体制について

【資料P-1, 2】

- 今年度の実施体制は次ページのとおり。
- 間実行委員長、室原、大城、中野、前野各副委員長の5人体制で実行委員会を進めていく。
- エコパートナーくまもと企画運営委員長である中村氏にもいろいろな面で協力をお願いしたい。

- 熊本県地球温暖化防止活動推進センター（NPO法人くまもと温暖化対策センター：以下、温対センター）の参加について

【温対センターより】

- ・ 今回は、環境教育WGのリーダーである宮原氏（温対センター理事長）が兼任して参加。次回以降の実行委員会には、温対センター事務局の小原氏が参加予定。
- ・ 熊本県地球温暖化防止活動推進センターとして環境フェアに参加させていただきたい。
- ・ 温対センターの理事会前なので、詳細な参加の内容については未決定であるが、温対センターの事業については予算を負担し、共催という形で参加させていただきたい。
- ・ 今年度の環境省委託事業である「一村一品・知恵の環」事業の県代表の表彰・発表を環境フェアのステージ枠の一部を使い実施したい。

【昨年度の環境省共催について（事務局）】

- ・ 昨年度の環境省との共催については、「3R推進九州ブロック大会」という全く別の事業であったが、動植物園で同時開催という意味での共催であった。
- ・ 当日のステージはタイムスケジュールを組み、共同で使用した。

【参加の形態について】

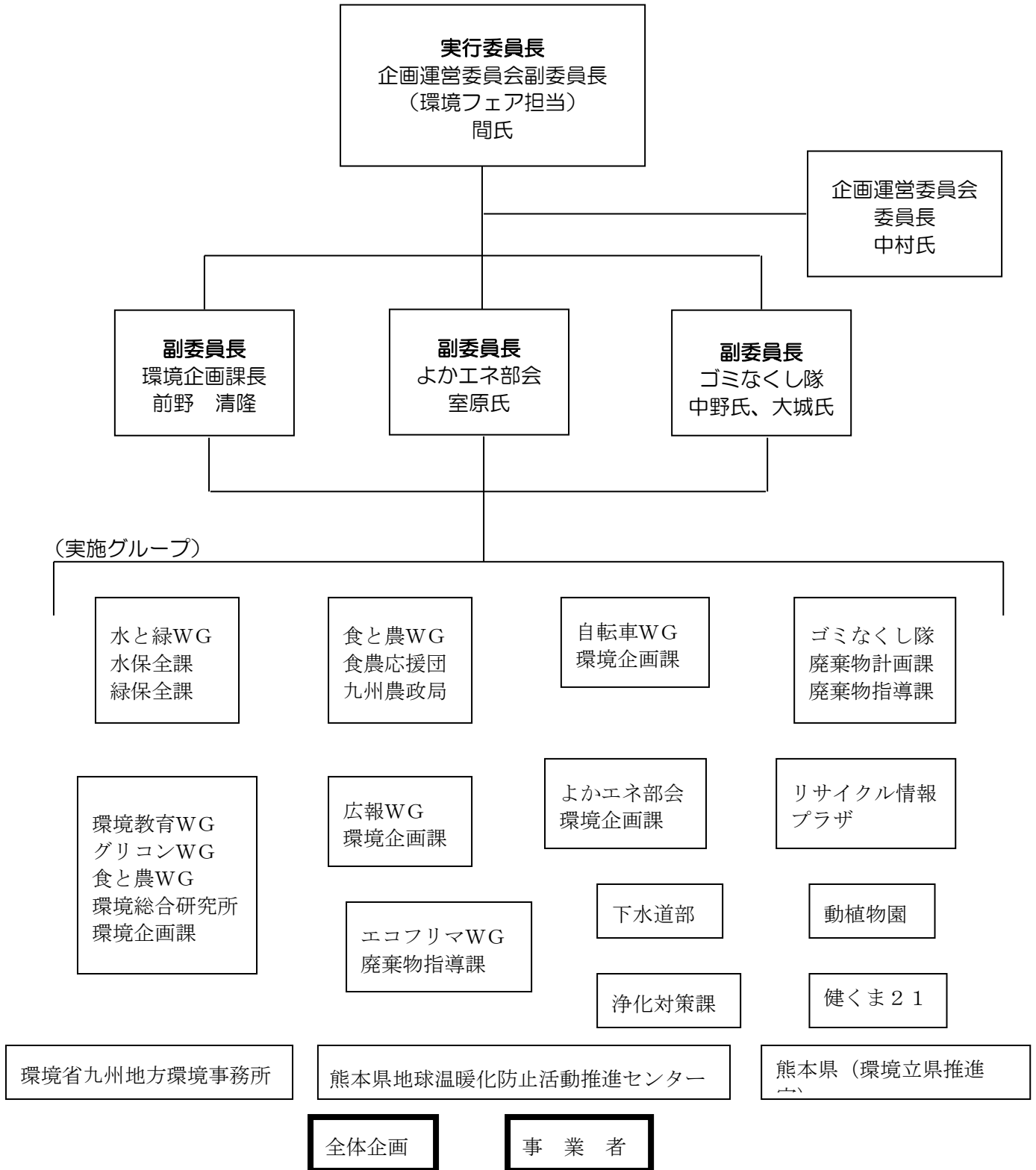
- ・ 温対センター理事会にて、予算や参加の形態についての希望をはっきりと決めていただかなければ具体的には決めることができないのではないか。

（温対センター）

次回の実行委員会にて、温対センターの企画や予算についてはっきりとした形で提示したい。

⇒温対センターの参加形態については、保留。次回の実行委員会で協議する。

「くまもと環境フェア2007」実行委員会体制



○ 環境省九州地方環境事務所、熊本県の参加について

今回は昨年環境省のように共催という形ではないが、事務局から環境省及び熊本県へ参画を依頼したところ、参加いただけることになった。

(環境省)

参加の内容については資料のとおり。

(熊本県)

具体的な内容については未定であるが、何らかの形で参加していただけるとのこと。

(質問) 熊本県と温対センターは別々の参加になるのか？

⇒具体的な参画の方法についてははっきりしていない。参加の形態については熊本県において検討中。

基本的には、前ページの体制で実行することとなる。

<事務連絡>

- 今後の連絡、情報提供等に必要となりますのでエコパートナーくまもと各WGの実行委員の方については、メールアドレスを事務局までご連絡ください。
- エコパートナーくまもと各WGより代理出席される場合は、必ず事務局までご連絡ください。守衛室提出の名簿に事前に追加します。
- 市役所職員の皆様、特に本庁以外の方は必ず職員証を携行してください。

【補足】「熊本県地球温暖化防止活動推進センター（NPO法人くまもと温暖化対策センター）」について

都道府県地球温暖化防止活動推進センターは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」によって定められたセンターで、各都道府県知事によって各都道府県に1つ指定されます。主な業務は地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」「活動支援」「照会・相談活動」「調査・研究活動」「情報提供活動」などです。

熊本県においては、今年2月に「NPO法人くまもと温暖化対策センター（宮原美智子理事長）」が「熊本県地球温暖化防止活動推進センター」に指定されました。

○「エコハウス」について（エコパ企画運営委員会より提案）

（よかエネ部会の福田氏による企画説明）

- ・ CO2 排出量の現状としては、民生部門（家庭・オフィス）の増加が著しい。そこで市民がとるべき具体的な行動をわかりやすく示すことを目的として「エコハウス」を提案する。
- ・ 実施のためには事業者の協力が不可欠。
- ・ 中にはできない部分もあるだろうが、できない部分についてはカットしながら初年度の取り組みとしてはできる部分だけでも実施できればと考えている。
- ・ 大人向けに、実際の購買層が楽しめるような企画にしたい。
- ・ よかエネ部会が主に担当するが、エコパ各WGや市役所各課（かい）にも協力をお願いしたい。

（質疑）

- ・ 出展に対する依頼はどこまで行っているのか？
→多少、打診しており、他にもいくつか参加可能な団体を把握している。
- ・ 当日の対応、搬出入等の人員協力については？
→出展事業者からの協力をお願いしたいと考えているので人的要求はしない。
- ・ どういった形で他のWGや市役所各課（かい）へ協力を要請したいと考えているのか？
→たとえば食と農WGに対して、九州農政局とのパイプ役をお願いしたいと考えている。当日の運営に対する協力というよりは、事前の準備段階での協力をお願いしたいと考えている。
また、自分たちのブースの出展内容がエコハウスと重なるような場合は、エコハウス内で出展していただきたい。

（事業者の参加について）

- ・ 事業者の参加を考えたとき、よかエネ部会の話し合いの中でも選定の基準についてさまざまな議論があった。
- ・ 明確な選定基準や選定委員会のようなものが必要になってくる。
- ・ メーカーに出展を依頼する場合は特に問題ないが、販売業者が出展する場合は、営業的色彩が強くなってしまう可能性があるため注意が必要。
- ・ 実行委員会名での依頼文が必要。
- ・ 昨年、緑保全課で実施した屋上緑化のモデル展示を今年もお願いすることは可能か？

（緑保全課）

→昨年は、造園建設業協会青年部からの協力を得て実施したが、動植物園という会場の土地柄、親子の来場者が多く思ったほど来客がなかった。結果として、あまりPRにならなかったため、今年も同様に出展してもらうことは頼みづらい。協会を通して出入り業者に依頼をしてもらっているが、協会としても反響がなければなかなか難しい。ただし、緑保全課が間に入り交渉することは可能。

- ・ 温対センターが協力できる可能性は？

（温対センター）

- 省エネ家電の展示など協力できる可能性あり。
- ・ 生ゴミ処理機の展示は協力可能か？
 - 協力可能。

(予算について)

- ・ 予算が不確定であることが問題点の一つであり、どこにお金が必要で、どこが不要かということが現時点では分からない。
- ・ 出展事業者から協賛金などの形で費用負担を求めるのかについても協議しなければならない。
- ・ いつの時点である程度予算が確定するのか？
(事務局)
 - 8月下旬の第3回実行委員会である程度の予算を示すことができると思われる。
- ・ 机や椅子の数などの予算をある程度提示したほうが決めやすいと思うが。
 - まず、どれくらいの団体が協力できるのかが分からないと何とも言えない。8月末までにはある程度固めたい。

「エコハウス」についてのまとめ

- 「エコハウス」を環境フェアにおいて実施するか？
 - ⇒全会一致で実施することに決定。
- 「エコハウス」についての話し合いは実行委員会の場で行い、情報を共有化する。
- まずは、各WG、各課（かい）に対して協力可能な事項を調査する。

○ 全体企画のあり方について

- ・ 「全体企画をどう考えるか」、「参加・協力の仕方をどう考えるか」についての共通理

解が必要。

- ・エコパの内部では「全体で〇〇名参加してほしい」という意見もあれば、「自分のWGはマンパワーが足りないので協力できない」といった意見もある。
- ・“イメージ”として1つの企画に全員で取り組むのか、各団体が何らかの形で関わるのか、はっきりしていない。今までは関係したいWGしか関わっていなかった。
- ・昨年は全部で9つの全体企画があり、基本的に発案したWG・課（かい）が主体となって実施しており、他の団体からの協力はなかった。逆に協力を希望したWGからも他の全体企画に対する協力はなく「相互協力」はほとんどなかった。
- ・全体企画に対する皆の思いが異なっていた。全体企画に対する共通認識が必要である。
- ・全体企画とはそもそもどういったものなのか。昨年の例を挙げると、以下のようなことが考えられる。

例)

「ごみステーション」

企画の内容自体は環境フェア全体の運営に関わる内容だが、実際の運営は主に廃棄物計画課が担っていた。（対象客層が全体）

「環境お化け屋敷」

全体企画として実施し、全体に関わってほしいという企画。
（協力体制が全体）

上記のような企画を同じ「全体企画」としていたことに違和感がある。

名称を変更して区別化してはどうか。

- ・全体企画の定義がはっきりしていないので固めていく作業が必要なのではないか。例えば、各WG・各課（かい）からの意見を求めてはどうか。
- ・ある程度文章化しなければ今後も混乱してしまう可能性がある。
- ・対象者、予算の出所、人員の協力体制等がはっきりしていなかったことが混乱の原因であったのではないか。

「全体企画のあり方」についてのまとめ

- 実行委員長、副委員長、企画運営委員長、事務局を交えて、名称や協力体制等について、ある程度定義を定めて文章化したものを次回以降の実行委員会へ提示する。

各WG・各課（かい）にて、サブタイトル案を作成し、企画提案表とあわせて7月31日までに提出をお願いしたい。

4 今後のスケジュールについて

【資料P-6】

（事務局）

エコパートナーくまもと企画運営委員会においては、環境フェア開催までに5回の実行委員会を開催することとなっていたが、現時点では開催までに計6回の実行委員会を開催したいと考えている。

5 企画提案表の提出について

【資料P-3】

（事務局）

8月上旬のコンペ説明会の際に必要なため、7月31日までに提出をお願いしたい。

6 第2回実行委員会の日程について

【資料P-3】

日 時：8月2日（木） 19時～

場 所：市役所7階会議室

7 その他

（事務局）ステージイベントについて

ステージについて、スケジュールや実施の方法等を早めに調整したいと考えている。ステージを使用する予定の各WG・各課（かい）は、早めに事務局までご連絡いただきたい。